

# 議会運営委員会 会議録

=====  
日 時 令和3年6月1日（火曜日）  
午前9時15分開会，午前9時30分閉会  
場 所 第3委員会室

---

- 日 程
- 1 開 会
  - 2 委員長挨拶
  - 3 議長挨拶
  - 4 協議事項  
(1) 新たに提出された請願について  
(2) 政治倫理審査委員会委員について  
(3) その他
  - 5 閉 会
- 

## 出席委員（7名）

委員長	海老原 一郎
副委員長	吉田 千鶴子
委 員	吉田 博史
委 員	矢口 清
委 員	鈴木 一彦
委 員	塚原 圭二
委 員	勝田 達也

---

## 欠席委員（0名）

---

## その他出席した者

議 長	小坂 博
副議長	島岡 宏明

---

## 事務局職員出席者

局 長	小松澤 文雄
次 長	天貝 健一
係 長	小野 聡
主 任	津久井 麻美子

主任 松本 裕司  
主幹 鈴木 優大

---

傍聴者（0名）

---

○海老原委員長 おはようございます。ただ今より議会運営委員会を開会いたします。傍聴はありませんね。

（「ありません」との声あり）

○海老原委員長 では、議長の方からご挨拶願います。

○小坂議長 おはようございます。6月定例会となります。本日から完全ペーパーレスとなります。よろしく願います。

○海老原委員長 それでは、早速、協議事項に入ります。新たに提出された請願・陳情について協議をお願いします。提出された3件についてまとめて事務局から説明願います。

○天貝事務局次長 資料1の1をお開きください。合計3件の提出がございました。内訳は陳情1件と請願2件で、請願はいずれも柏村議員が紹介議員でございます。資料1の2をお開きください。2ページをお願いいたします。こちらは、受理番号3の安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書を国に提出することを求める陳情書で、茨城県医療労働組合連合会から提出されたものでございます。陳情趣旨をご覧ください。コロナウイルス感染症対応の経験から明らかになったことは、医療機関の感染症病床の大幅な不足と、医療関係者の人員不足などです。これらの諸問題の背景には、医療などの社会保障費の抑制策や公衆衛生施策の縮減があります。21世紀に入りわずか20年の間にサーズやマーズ、そして今回の新型コロナウイルスとの闘いが求められ、今後も新たなウイルス感染への対応が必要になることが明らかです。今回の感染対策の教訓を経て国民のいのちと健康、暮らしを守るため下記の陳情事項について関係行政庁へ意見書を提出していただきたい。という内容でありまして、陳情事項を朗読いたします。1 今後も発生が予想される新たな感染症拡大などの事態にも対応できるよう、衣料、介護、福祉に十分な財源確保を行うこと。2 公立公的病院の統合再編や地域医療構想を見直し、地域の声を踏まえた医療体制の充実を図ること。3 安全安心の医療、介護提供体制を確保するため、医師、看護師、医療技術職、介護職等を大幅に増員すること。4 保健所の増設、保健師等の増員など公衆衛生行政の拡充を図ること。ウイルス研究、検査、検疫体制などを強化拡充すること。5 社会保障に関わる国民負担軽減を図ること。右側の3ページは意見書案で2ページと同じ内容でございます。続きまして資料下のページ表示で4から6ページが受理番号4の茨城県地域防災計画、原子力災害対策計画編にコロナ等の感染症対策を取り入れることについて茨城県知事へ意見書を提出することを求める請願で、提出者はたとて未来の会でございます。5ページをご

ご覧ください。内容を要約しますと、2段落目の後半からになります。茨城県では東海第2発電所の安全性の検証と実効性のある避難計画の検討が進められています。計画の検討においては、コロナ等の感染症発生と原発事故との複合災害を考慮する必要があるのではないのでしょうか。三密回避を考慮すれば、当初計画の何倍もの収容施設が必要となり、感染症対応可能な人員配置などコロナに対応した対策への見直しが必要であると考えことから、請願の要旨に記載のとおり、茨城県地域防災計画にコロナ等の感染症対策を取り入れるよう県知事への意見書提出が請願内容でございます。なお、6ページは意見書案で5ページと同じ内容でございます。続きまして7から9ページが受理番号5の第6次エネルギー基本計画の改定に向けて、国へ意見書提出を求める請願書で、提出者は先程の請願と同じでございます。8ページをご覧ください。内容を要約しますと、請願趣旨の本文4行目からです。今年予定されている2030年第6次エネルギー基本計画の改定は、コロナ禍と気候危機が進んでいる現在において大変重要な計画となります。再生エネルギーの導入拡大は二酸化炭素を減らす最も有効な手段として、2030年に向けたエネルギーミックスをどのように計画するかが大きな岐路となります。という趣旨でありまして、要請事項は1から3の3点であります。朗読いたします。1国は次期エネルギー基本計画で、2030年の再生可能エネルギー電力目標を60パーセント以上、2050年は100パーセントとすること。2国は巨大なリスクを抱える原子力発電は速やかに廃止し、石炭火力発電は段階的に2050年までに廃止すること。3国は脱炭素社会に向けて再生可能エネルギーを強力に推進する政策への転換を早急にすすめること。4以上の点を国、内閣総理大臣、産業経済大臣、環境大臣、行政改革担当大臣に意見書として提出すること。という内容でございます。右側の9ページは意見書(案)で8ページと同じ内容でございます。以上3つの請願・陳情の付託する委員会についてご協議をお願いいたします。

○海老原委員長 それでは、受理番号3安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書を国に提出することを求める陳情書はどの委員会に付託しますか。趣旨からすると文教厚生へ付託することよろしいですか。

(「異議なし」との声あり)

○海老原委員長 ご異議なしと認め、ただ今のとおりいたします。次に、受理番号4茨城県地域防災計画、原子力災害対策計画編にコロナ等の感染症対策を取り入れることについて茨城県知事へ意見書を提出することを求める請願はどの委員会に付託しますか。趣旨からすると総務市民委員会へ付託することよろしいですか。

(「異議なし」との声あり)

○海老原委員長 ご異議なしと認め、ただ今のとおりいたします。次に、受理番号5第6次エネルギー基本計画の改定に向けて、国へ意見書提出を求める請願書はどの委員会に付託いたしますか。趣旨からすると総務市民委員会へ付託することよろしいですか。

(「異議なし」との声あり)

○海老原委員長 ご異議なしと認め、ただ今のとおりいたします。次に政治倫理審査

委員会委員について事務局より説明願います。

○天貝事務局次長 資料2をお開きください。前回の議運で説明させていただきました政治倫理審査委員会委員について、市長から推薦名簿が届きましたのでご案内いたします。推薦者の区分が表の左側に記載されており、専門的見識を有するものとして弁護士等の方々が推薦され、うち1名が新任でございます。また、後段の市民代表の区分においてはご覧のとおりの方々が推薦されておりまして、5名中3名の方が新任の方でございます。この後の全協においても報告した上で議長が委嘱する形になります。

○海老原委員長 皆様、ご意見等はございますか。

(「なし」の声あり)

○海老原委員長 それでは、この件につきましては全員協議会にてこの名簿に基づき議長より説明していただくことといたします。次に、その他に移ります。事務局から何かありますか。

○天貝事務局次長 特にございません。

○海老原委員長 なければ、以上ですが、本日の資料は、各議員にこの後、非公表とするものはありませんか。事務局いかがですか。

○天貝事務局次長 特にございません。

○海老原委員長 なければ、すべての資料を公表とさせていただきます。

○海老原委員長 それでは、以上を持ちまして議会運営委員会を閉会します。お疲れ様でした。